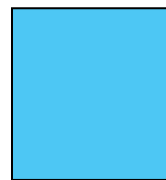


(様式：13-01)



紺藤織物 株式会社

# 2019 年度 環境経営レポート

【 2018 年 9 月～2019 年 8 月号】

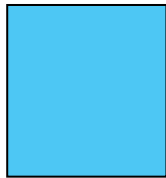
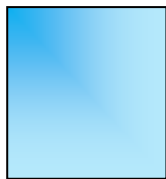
作成日 ： 2019 年 11 月 30 日

つながり・つないで創業

100<sup>th</sup>

ANNIVERSARY

KONDO ORIMONO CO.,LTD.



## 目 次

|                              |      |
|------------------------------|------|
| ご挨拶                          | P 2  |
| 環境経営方針                       | P 3  |
| 1. 事業者活動の概要                  | P 4  |
| 2. 認証・登録の対象組織・活動             | P 4  |
| 3. 組織体制                      | P 5  |
| 4. 環境経営目標とその実績               | P 6  |
| 5. 2019年度 環境経営計画の具体的な取り組みと評価 | P 7  |
| 6. 2020年度 環境経営活動の取り組み計画      | P 12 |
| 7. 環境関連法規制の順守状況              | P 13 |
| 8. 2019年度代表者による見直し           | P 13 |

## ご 挨 拶

紺藤織物株式会社は事業活動を通じて、持続可能な社会の発展に貢献していきます。私たちは、法令を遵守することはもとより、多様化するステークホルダーの期待や要望に応えるために、積極的なコミュニケーションを図り、私たちに何ができるかを、常に考え、社会的責任を果たす活動を自主的、かつ積極的に推進していきます。

当社の環境活動においては、「母なる湖」琵琶湖を世代を超えて共有すべき財産として守り伝えていくため、湖と企業活動の共生をめざし、エコアクション 21 活動を柱に、一層の環境負荷低減に努め、自然と人類の共存を図る取り組みを行っていきます。

**紺藤織物株式会社**

代表取締役社長 山 川 藤 治



## 環境経営方針

当社の産業資材用織物及び撚糸コードの設計・開発、製造及び販売活動の中で、環境保全が経営の重要課題であることを認識し、エコアクション 21 環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境経営活動に取り組みます。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。
  - (1) 脱地球温暖化社会のための省エネルギーとして、電気使用量を削減します。
  - (2) 循環型社会のため 単純焼却の廃棄物を削減します。
  - (3) 省資源のため生産ロスを低減します。
  - (4) 水資源の節約として 上水を削減します。
  - (5) 作業環境を全員参加の 5 S 改善活動で進めます。
  - (6) 化学物質の適切管理に努めます。
  - (7) 環境に配慮した織物、撚糸コードの積極的な提案（設計・開発）を進めます。
  - (8) 事業所周辺の水辺の環境や生き物の保全活動を行います。
4. 全従業員にこの環境経営方針を周知します。

制 定 日：2018 年 9 月 1 日

紺 藤 織 物 株 式 会 社

代表取締役社長 山川 藤 治

## 1. 事業者活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

事業者名 紺 藤 織 物 株 式 会 社  
代表取締役社長 山川 藤治

(2) 所在地

滋賀県高島市新旭町藁園 1498 番地

(3) 環境保全関係の責任者及び推進者連絡先

責任者 総務管理部長 : 中村 宏幸 TEL : 0740-25-3431  
担当者 技術部長 : 福田 藤博 TEL : 0740-25-3431

(4) 事業内容

産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売

(5) 事業年度 9 月 1 日～8 月 31 日

(6) 事業規模

| 活動規模 | 単位             | 2017 年 | 2018 年 | 2019 年 |
|------|----------------|--------|--------|--------|
| 生産重量 | t              | 3,208  | 3,327  | 2,971  |
| 売上高  | 百万円            | 1,164  | 1,227  | 1,235  |
| 従業員  | 人              | 86     | 89     | 89     |
| 床面積  | m <sup>2</sup> | 13,709 | 13,709 | 13,709 |

## 2. 認証・登録の対象組織・活動

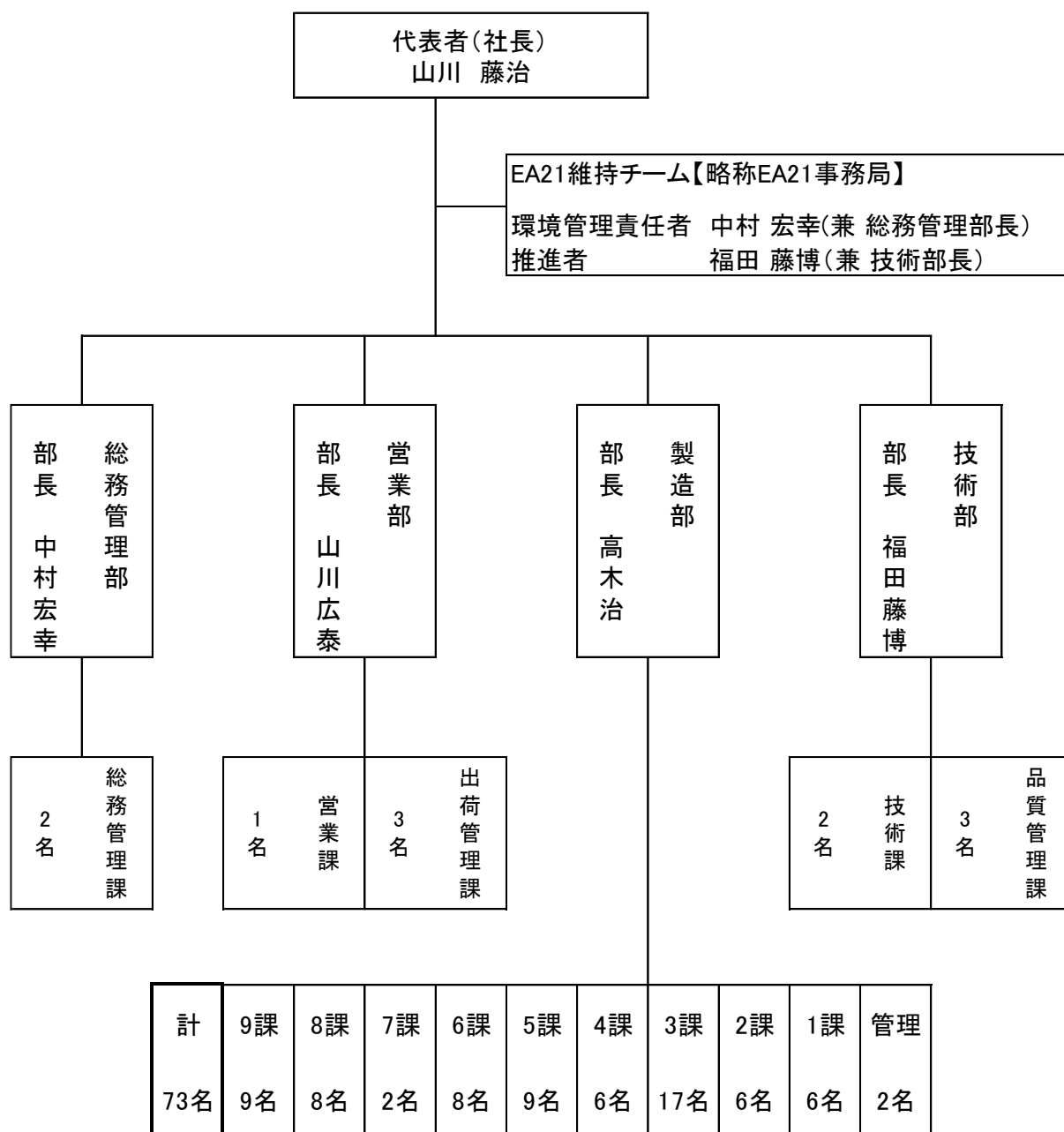
登録組織名：紺藤織物株式会社（全組織・全活動対象）

活 動：産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売



### 3. 組織体制

紺藤織物株式会社 環境経営システム組織図



#### 4. 環境経営目標とその実績

今期（2019 年度（‘18/9～’ 19/8））は第 5 中期環境目標計画の初年度となります。第 5 中期環境目標の基準年度は 2017 年度（‘16/9～’ 17/8）としています。

| 項目                                        | 年度 | 2017年度(基準年度)<br>(‘16/9～’ 17/8) | 2019年度<br>(‘18/9～’ 19/8) |                | 2020年度<br>(‘19/9～’ 20/8) | 2021年度<br>(‘20/9～’ 21/8) |
|-------------------------------------------|----|--------------------------------|--------------------------|----------------|--------------------------|--------------------------|
|                                           |    | 実績                             | 目標                       | 実績             | 目標                       | 目標                       |
| 購入電力に起因する二酸化炭素排出量の加工料当たり<br>(kg-Co2/千円)   |    | 1.302                          | 1.295                    | 1.339          | 1.289                    | 1.282                    |
| 単純焼却廃棄物に起因する二酸化炭素排出量の加工料当たり<br>(kg-Co2/円) |    | 20.48                          | 18.43                    | 18.48          | 18.23                    | 18.02                    |
| 上水量 (m <sup>3</sup> /年)                   |    | 647.0                          | 570.0                    | 580.0          | 566.0                    | 562.9                    |
| 5S改善活動 (点/年以上)                            |    | 61.7                           | 63.0                     | 63.5           | 64.0                     | 65.0                     |
| ロス率の低減 (%)                                |    | 6.08                           | 6.07                     | 6.34           | 6.06                     | 6.05                     |
| 化学物質の適正管理 (AK-35 (PRTR 法非該当)) 使用量計測       |    | 12回/年<br>計測実施済                 | 12回/年<br>計測実施済           | 12回/年<br>計測実施済 | 12回/年<br>計測実施済           | 12回/年<br>計測実施済           |
| 環境に配慮した織物・燃系コードの提案 (件/年以上)                |    | 2018年度実績<br>4件                 | 5件以上                     | 5件             | 5件以上                     | 5件以上                     |
| 環境保全活動への参加                                |    | 2018年度実績<br>28名                | 前年比10%up<br>(31名)        | 8名             | 31名                      | 前年比10%up                 |

#### 【補足説明】

- 第 5 次中期環境目標（2019 年度－2021 年度）に使用する原単位は、出荷加工料（円）を分母としています。
- 購入電力に起因する二酸化炭素排出量の排出係数は 2017 年度関西電力実排出係数 0.493kg-Co2/kWh を使用しています。
- 水資源は、計測上の問題から上水のみを目標としています。地下水は令和元年 7 月 12 日に水質分析を実施し、第 3 者機関より水質汚濁環境基準に合致している証明を頂いております。
- 化学物質の管理において、当社では PRTR 法に基づく物質を一切使用しておらず、検査時に使用する有機溶剤（汚れ落とし）の AK-35 の適正管理に努めます。
- 産業資材用織物、燃系コードにおいて、環境に配慮した設計・開発の提案を積極的に行い、園提案件数を目標とします。
- 生物多様性に関する取組みは、当地域で開催される環境保全活動に積極的に参加し、参加延べ人数としています。

## 5. 2019年度 環境経営計画の具体的な取り組みと評価

| 取り組み                                                                                                                                          | 結 果                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. 電気量の削減・・・製品（反物）加工料対比</p> <p>（1）製造部全体の稼働率 UP<br/>（2）織機、送風機等のVベルトの切替え<br/>（3）コンプレッサーの適正運用<br/>（4）冷暖房のメンテナンス強化<br/>（5）夏場の工場の遮断・断熱工事を実施</p> | <p>【 評価結果 △ 】</p> <p>目標値 : 1.295kg・CO<sub>2</sub>/千円 以下<br/>実績値 : 1.339kg・CO<sub>2</sub>/千円<br/>達成率 : 97.2%</p> <p>昨年導入したエア織機や 2 工場のエアコン化に伴い増エネとなった。エア織機分は加工料増加分とバランスが取れたもの、ボイラー式からエアコン化（冬季のみ使用）に切り替えた分について、他の省エネ活動では賄えなかった。CO<sub>2</sub> 排出量は、ボイラーに使用していた化石燃料の減少分を考慮すると減少した。</p> |
| <p>2. 単純焼却の廃棄物の削減・・・製品（反物）加工料対比</p> <p>（1）リユース、リサイクルへの分別を徹底する<br/>（2）プラダン敷板の活用、廃段ボール、仮包装用テープ、pp バンドの削減</p>                                    | <p>【 評価結果 △ 】</p> <p>目標値 : 18.43 kg-Co<sub>2</sub>/円 以下<br/>実績値 : 18.48 kg-Co<sub>2</sub>/円<br/>達成率 : 99.7%</p> <p>単純焼却の廃棄物も原単位を見直したが、工場全体の意識付けと活動とが継続していて達成した。また、実量においても削減が進んだ。</p>                                                                                               |
| <p>3. 上水量の削減</p> <p>（1）使用実績を掲示<br/>（2）節水啓蒙シートを掲示</p>                                                                                          | <p>【 評価結果 △ 】</p> <p>目標値 : 570m<sup>3</sup>/年 以下<br/>実績値 : 580m<sup>3</sup>/年<br/>達成率 : 98.3%</p> <p>今期は、若干目標に達しなかった。活動自体には問題が無い。冬期の水道管の凍結による破損など点検を強化した。</p>                                                                                                                      |
| <p>4. 化学物質の適正管理</p> <p>（1）AK-35（PRTR 法非該当）の適正管理</p>                                                                                           | <p>【 評価結果 ○ 】</p> <p>適正管理</p>                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>5. 環境配慮した織物・燃糸コードの提案</p> <p>（1）当社自らが設計・開発する提案<br/>（2）顧客のニーズを基にした設計・開発する提案</p>                                                              | <p>【 評価結果 ○ 】</p> <p>目標値 : 5 件以上<br/>実績値 : 5 件<br/>達成率 : 100.0%</p> <p>自らが提案した案件が3件、顧客のニーズからの提案が2件となった。うち1件は採用となった。その他の提案も協議中である。</p>                                                                                                                                              |
| <p>6. ロス率の低減・・・仕掛総計（生産量）対比</p> <p>（1）ビーム巻反数の改善<br/>（2）捨て耳長さの削減（製品を特定する）</p>                                                                   | <p>【 評価結果 △ 】</p> <p>目標値 : 6.07%以下<br/>実績値 : 6.34%<br/>達成率 : 95.7%</p> <p>今期は、厚織布の特注製品が増加したことにより、整経工程、製織工程での段取り替え時のロスが大幅に増加した。設計時点と実際との乖離の検証し、見直しを行っていく。</p>                                                                                                                       |



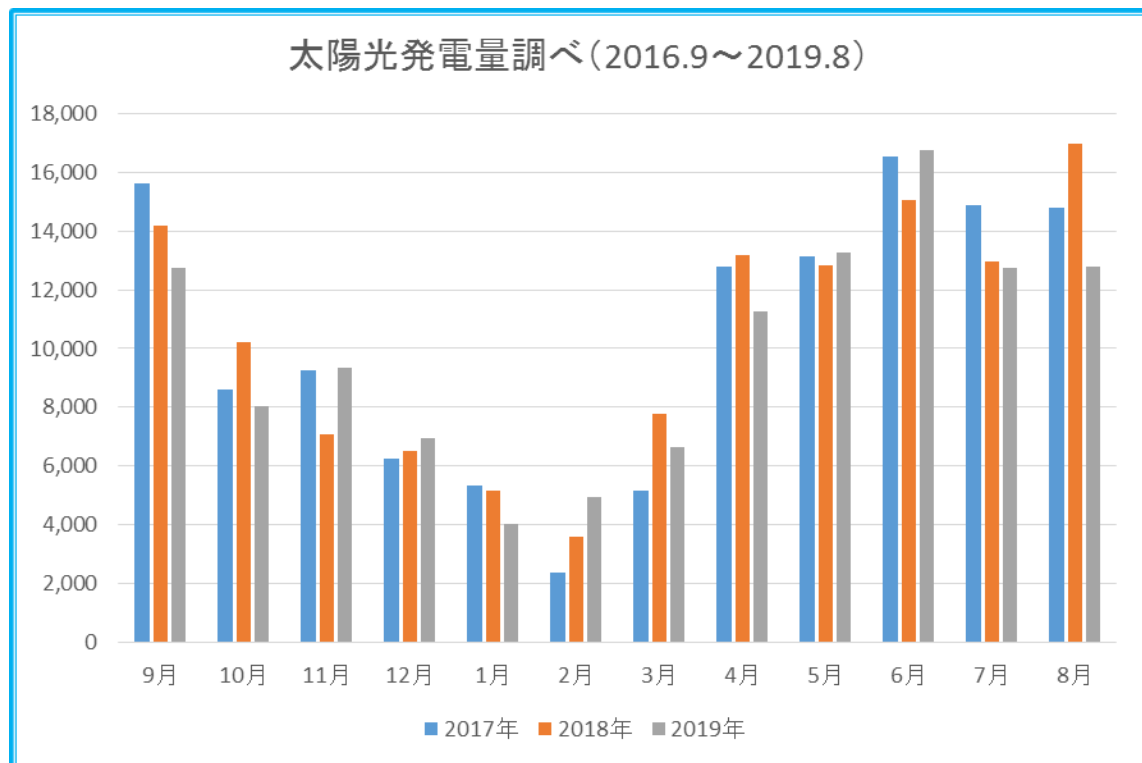
| 取り組み                                                                                                                                            | 結 果                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>7. 5S改善活動による徹底率の向上…5S チェックリスト</p> <p>(1) 4ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進（毎月の全社会議で 成果発表）</p> <p>(2) 改善提案提出 1 件以上／4 ヶ月／人の励行</p> <p>(3) 5S レクチャー強化</p> | <p>【評価結果 ○】</p> <p>目標値 : 63.0 点以上</p> <p>実績値 : 63.5 点</p> <p>達成率 : 105.8%</p> <p>課別活動「5S クロスチェック活動」が進み、10月以降に発表していく。今期は、課別活動、個人提案、新人改善と3本柱が上手く回り、目標を達成することが出来た。</p> |
| <p>8. 地域環境保全活動への参加</p> <p>(1) 地域の水辺の環境保全活動の調査</p> <p>(2) 保全活動への参加</p>                                                                           | <p>【評価結果 ×】</p> <p>目標値 : 31 人以上参加</p> <p>実績値 : 23 人参加</p> <p>達成率 : 74.1%</p> <p>高島経済会の清掃活動や琵琶湖清掃活動を中心に参加した。例年参加していた「お魚ふやし隊」が社内行事と日程が重なり参加できず、メインの行事が無くなり残念だった。</p>  |

※評価結果 ○：目標達成      △：目標達成率 95%以上      ×：目標達成率 95%未満

## 今期の取組みトピック

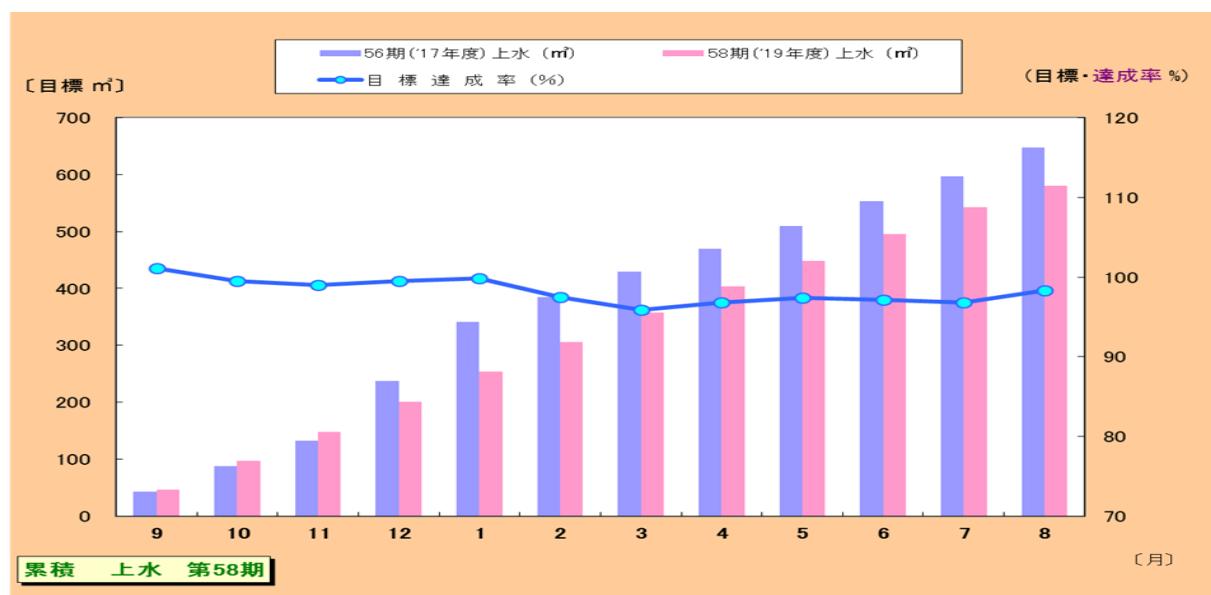
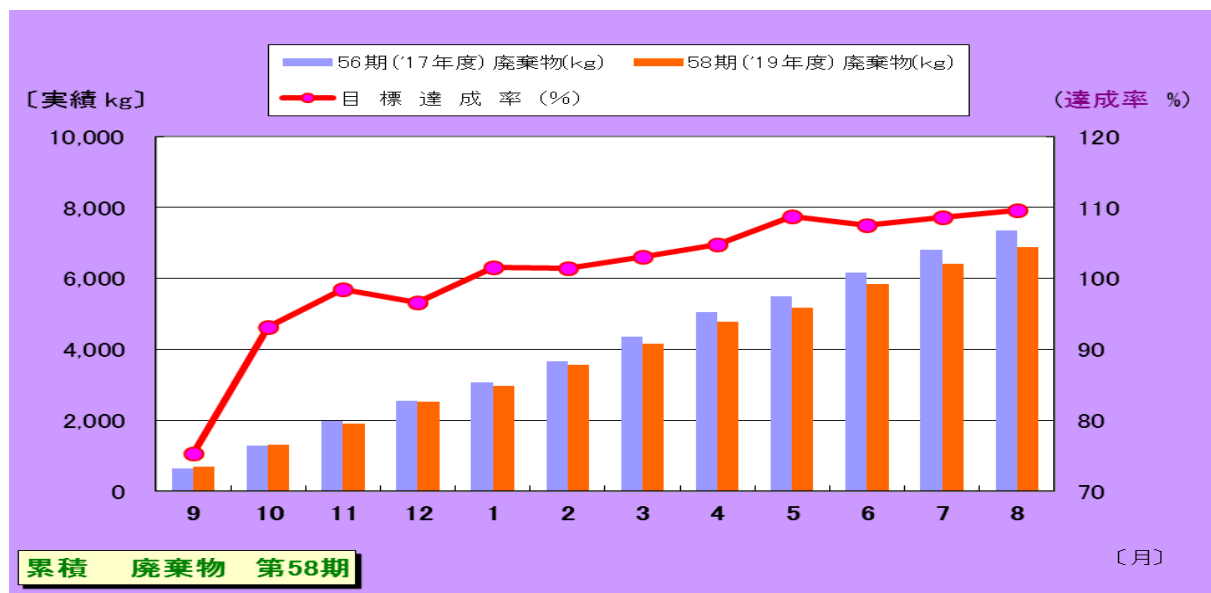
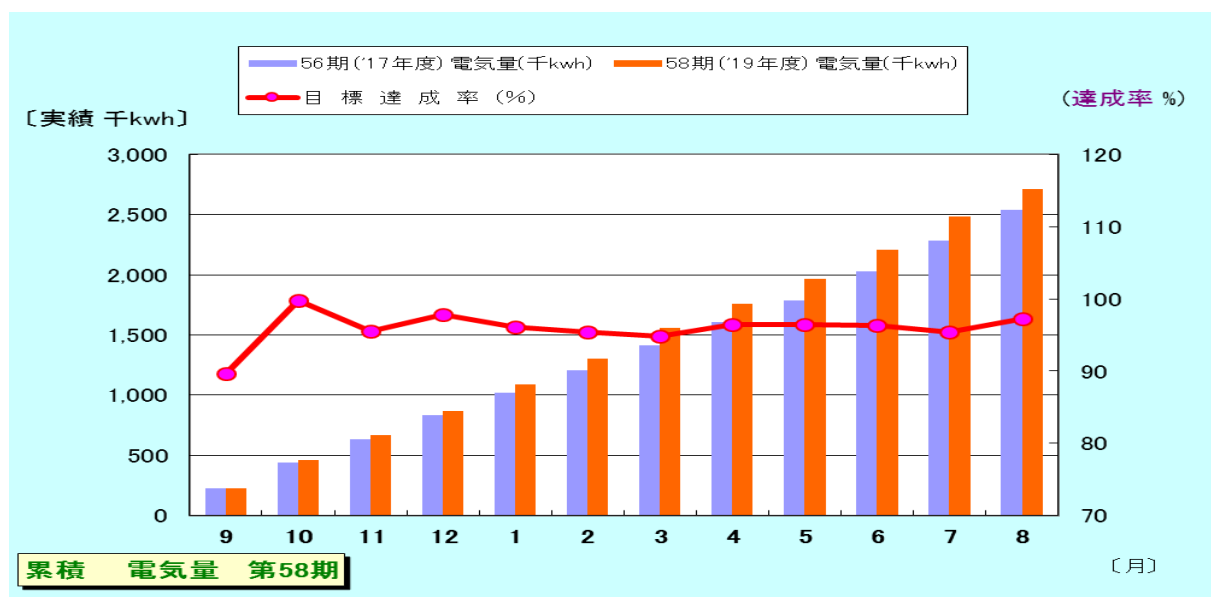
### ◆工場屋根太陽光発電設備実績

環境配慮型工場として、工場の屋根を利用し 100kW 容量の太陽光発電設備を 2 年前に設置しました。今期の発電量の実績は、以下の通りとなりました。



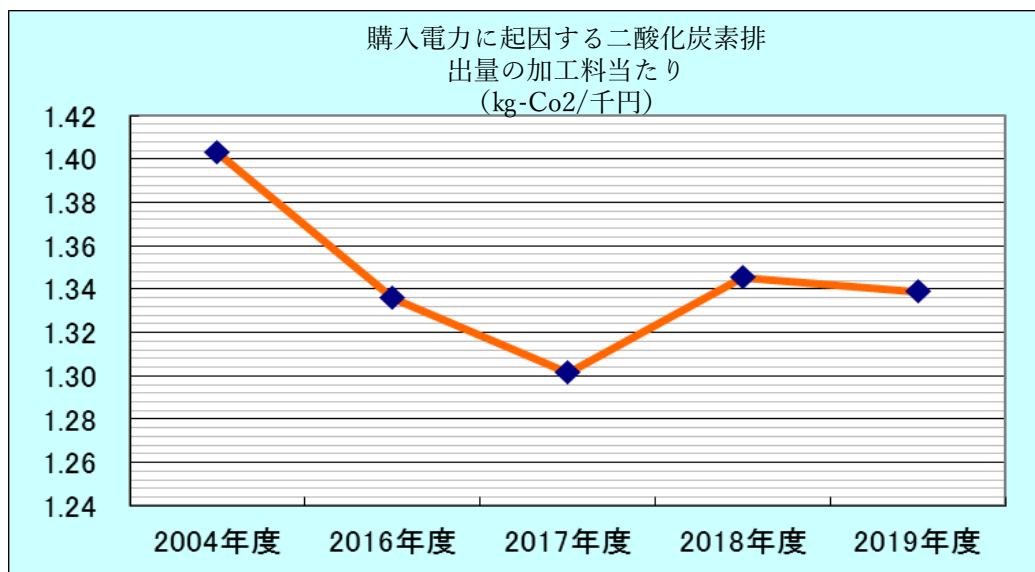
今期は、目標発電量以上の発電量で実績は 120 千 kwh/年となったものの、前年比 5%減でした。

## ◆今期 実績グラフ

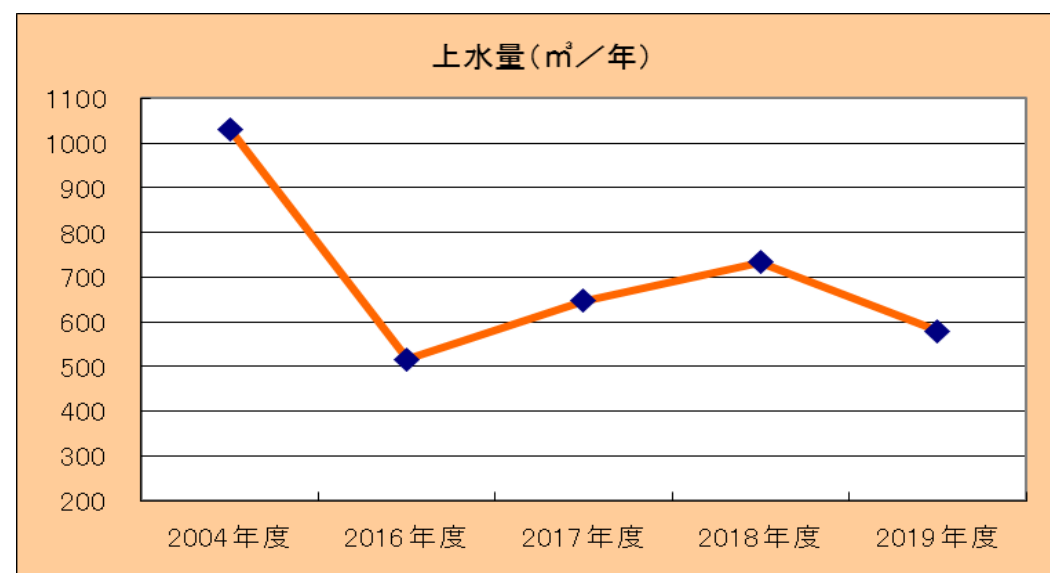
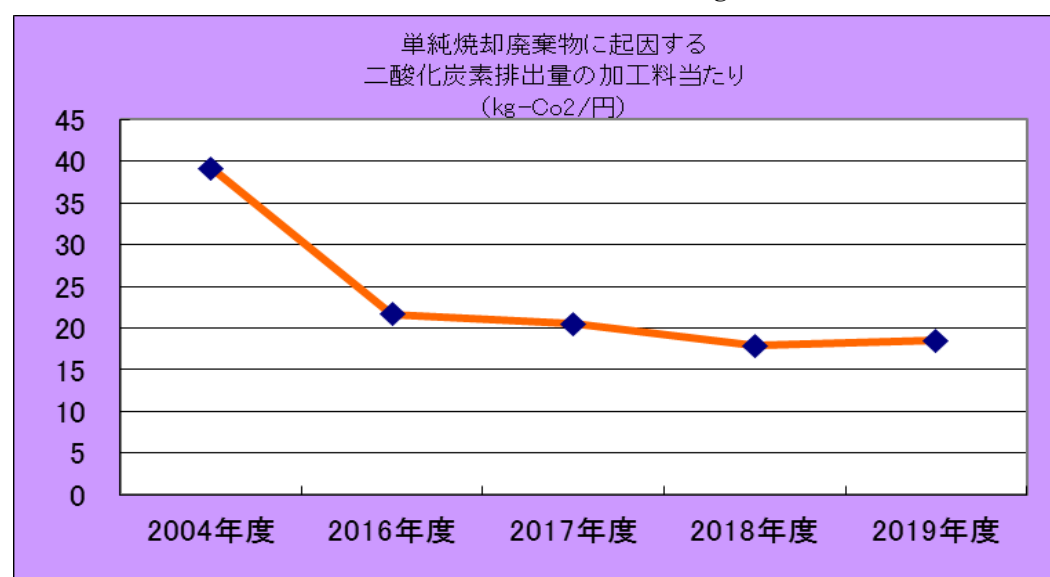


# ◆EA21 活動数値推移表（抜粋）

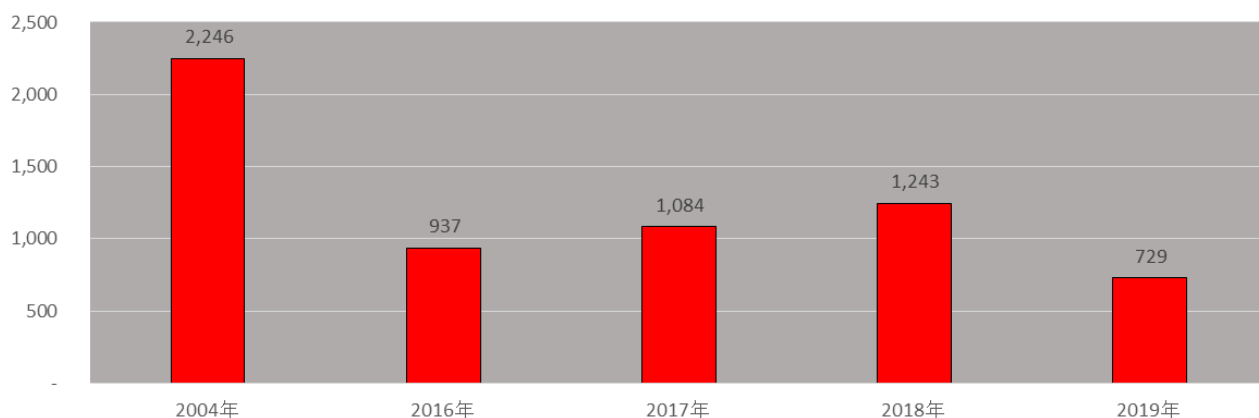
※2004年度は、当社の EA21 活動をスタートさせた 2007 年度の基準年度にあたります。



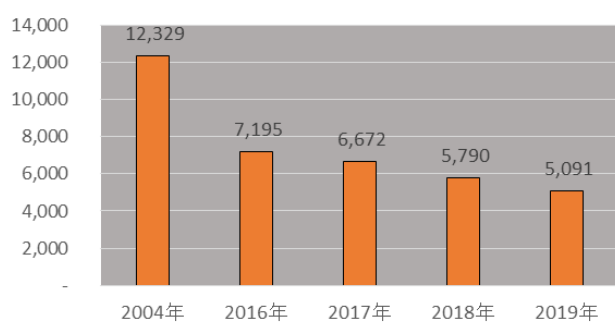
※排出係数は、2017 年度関西電力実排出係数 0.493kg-Co2/kWh を使用しています。



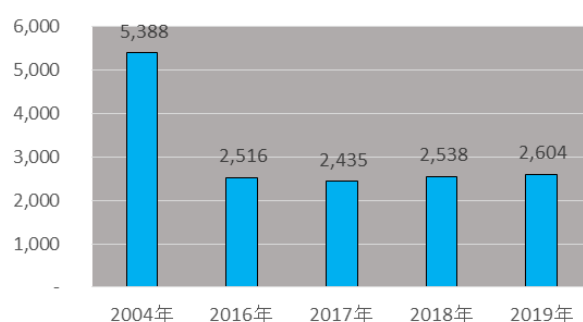
化石燃料 総エネルギー 投入量(KMJ)



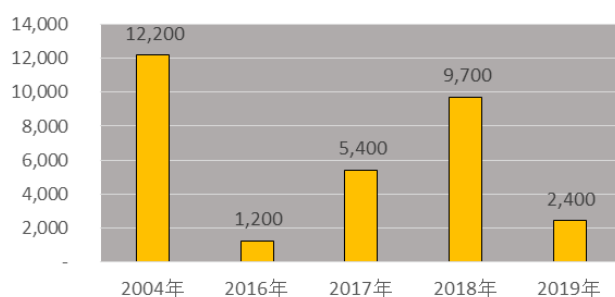
ガソリン(ℓ)



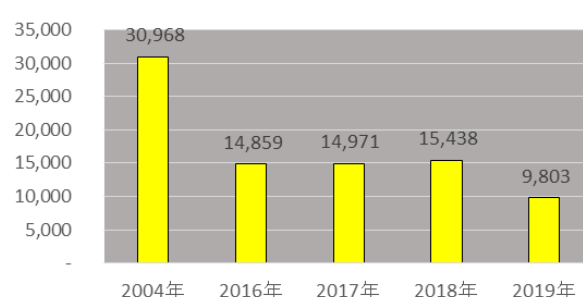
軽油(ℓ)



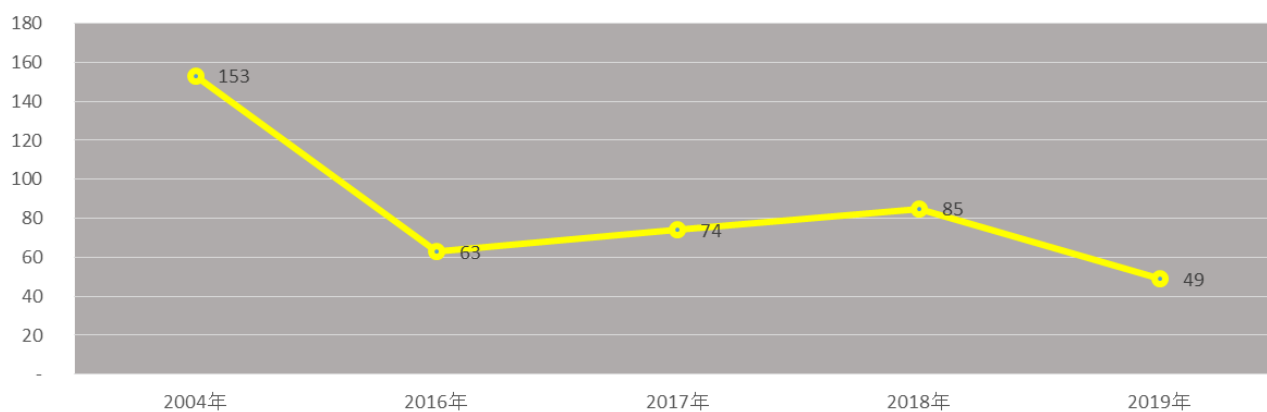
A重油(ℓ)



灯油(ℓ)



化石燃料によるCo2総排出量(千kg-Co2)



## 6.2020年度 環境経営活動の取り組み計画

| 取り組み計画                                                                                                                                  | 目標値                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 電気量の削減・・・製品(反物)長さ対比<br>(1) 製造部全体の稼働率 UP<br>(2) 織機、送風機等のVベルトの切り替え継続<br>(3) コンプレッサーの適性運用<br>(4) 冷暖房の適性運用及びメンテナンス強化<br>(5) 工場エアコン化の管理強化 | 目標値 : 1.289kg・CO <sub>2</sub> /千円 以下 |
| 2. 単純焼却の廃棄物の削減・・・製品(反物)長さ対比<br>(1) 3Rの徹底(教育訓練)<br>(2) 織物、燃糸の端末部のリサイクル化の周知徹底<br>(3) ゴミ袋使用量削減の見える化                                        | 目標値 : 18.22 kg-Co2/円 以下              |
| 3. 上水量の削減<br>(1) 使用実績を掲示する<br>(2) 節水啓蒙シートを掲示する<br>(3) 10月-2月節水強化期間設定<br>(4) 冬期水道管の点検強化                                                  | 目標値 : 566.0m <sup>3</sup> /年 以下      |
| 4. 化学物質の適正管理<br>(1) AK-35 (PRTR 法非該当) の適正管理                                                                                             | 設定なし                                 |
| 5. 環境配慮した織物・燃糸コードの提案<br>(1) 当社自らが設計・開発する提案<br>(2) 顧客のニーズを基にした設計・開発する提案                                                                  | 目標値 : 5件以上                           |
| 6. ロス率の低減・・・仕掛総計(生産量)対比<br>(1) ビーム巻反数の改善<br>(2) 捨て耳長さの削減(製品を特定する)                                                                       | 目標値 : 6.06%以下                        |
| 7. 5S改善活動による徹底率の向上・・・5Sチェックリスト<br>(1) 4ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進<br>(毎月の全社会議で成果発表)<br>(2) 改善提案提出1件以上/4ヶ月/人の励行<br>(3) 5Sレクチャー強化            | 目標値 : 64.0点以上                        |
| 8. 地域環境保全活動への参加<br>(1) 地域の水辺の環境保全活動の調査<br>(2) 保全活動への参加                                                                                  | 地域の環境活動参加者 : 31名以上                   |

## 7. 環境関連法規制の順守状況

### 1. 当社に適用される主な法規制等と現在までの順守状況

| 法律及び法令の略称                        | 当社に適用される要求事項        | 順守状況 |
|----------------------------------|---------------------|------|
| 廃棄物処理法<br>(廃棄物の処理及び清掃<br>に関する法律) | 一般廃棄物・産業廃棄物の保管および運搬 | 適    |
|                                  | 産業廃棄物の運搬・処理の委託      | 適    |
|                                  | 産業廃棄物管理票の運用、交付等の報告  | 適    |
| 騒音規制法                            | 規制基準の遵守義務           | 適    |
|                                  | 特定施設の届出             | 適    |
| 振動規制法                            | 規制基準の遵守義務           | 適    |
|                                  | 特定施設の届出             | 適    |
| フロン排出抑制法                         | 簡易点検および定期点検の実施      | 適    |
| 消防法<br>・高島市火災予防条例                | 一定規模以上の事業所に対する規程    | 適    |
|                                  | 第4類危険物の指定数量         | 適    |
|                                  | 指定可燃物の届出            | 適    |
|                                  | 消防用設備等点検結果報告書       | 適    |

### 2. 環境関連法規について

当社の環境関連法規の重大違反はありません。関連当局の違反等の指摘及び住民より苦情も、過去3年間ありません。今後も最新法令を確認しこれを順守します。

## 8. 2019年度代表者による見直し

第5次中期環境計画から、評価基準の原単位を見直し、「織物長さ(km)」から「加工料(千円)」での評価に変更しました。これは、過去3年で弊社の製品構成が大きく変化したことにより、単純な生産量よりも、付加価値額である「加工料」で評価することが全社に亘り理解が進むとしたからです。

初年度の今期は、主要取り組み項目の電力量削減をはじめ廃棄物排出量の削減、水使用量の削減等は順調に活動が進み、全て達成とはなりませんでした。活動自体は前進しており問題はありませんでした。その他の目標についても同様に、妥当性を確認し、継続して取り組むことにより環境経営システムは前進しています。

上記を踏まえ、環境経営システムは有効に機能し問題なく継続展開をしていきます。

来期は、弊社創業100周年の期にあたり、記念事業として環境をキーワードに活動を計画しております。創業100周年を機に、一層の環境型ものづくり企業として発展できるよう、従業員とともにエコアクション21に取り組んでまいります。

## 環境アルバム



つながり・つないで創業

# 100<sup>th</sup>

## ANNIVERSARY

2019年 紺藤織物はおかげさまで創業100周年を迎えました。

紺藤織物株式会社